ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様ご相談センタへお気軽にご相談ください。

<お客様ご相談センタ： 0120-186102>

創造と豊かな対話のために
IWATSU 岩崎通信機株式会社
通信営業本部　〒168-8501　東京都杉並区久我山1-7-41

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。 修理を依頼される時やお問い合わせのときに大変便利です。	
設置年月日	年　　月　　日
設置店名 住所 電話番号	

TML162331

IWATSU

アナログコードレス電話機
取扱説明書

このたびは、アナログコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

この説明書は、お読みになったあとも本商品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

マーク	説明
⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事および修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。
- 使用済みの電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行なってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス（赤）・マイナス（黒）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差込んでください。まちがった接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
  - ・火の中に投入したり、加熱しない。
  - ・直接はんだ付けしない。
  - ・プラス（赤）・マイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
  - ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
  - ・外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
  - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアナログコードレス接続装置の電話機コードを差込口から抜き、アナログコードレス電話機は充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、破損した場合、すぐにアナログコードレス接続装置の電話機コードを差込口から抜き、アナログコードレス電話機は充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアナログコードレス接続装置の電話機コードを差込口から抜き、アナログコードレス電話機は充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 本商品をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにアナログコードレス接続装置の電話機コードを差込口から抜き、アナログコードレス電話機は充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合は、すぐにアナログコードレス接続装置の電話機コードを差込口から抜き、アナログコードレス電話機は充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● アナログコードレス接続装置の電話機コードやアナログコードレス電話機用充電器の電源アダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電源アダプタコードが傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

● 本商品に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

● お客さまによる本商品の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。本商品の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

● 充電器の電源アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

● 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

● 本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

● 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

● 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、ただちにきれいな水で洗い流してください。

● アナログコードレス電話機をねじったり、重いものをのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

● 歩行中に、絶対にアナログコードレス電話機を操作したり、見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

● お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

● 充電器の電源アダプタのコンセントは、充電器の近くに設け、容易に電源プラグの挿抜ができるようにして下さい。

⚠注意

- 本商品を直射日光の当たるところや、暖房設備･ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を壁掛用に取り付ける場合は、重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 充電器の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電源アダプタをコンセントから抜くときは､必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

- 近くに雷が発生したときは､すぐに電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、電池パックも取り出してください。
- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品のアンテナにご注意ください。あやまってアンテナが目に当たって､けがの原因となることがあります。
- 電池パックは2年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると､液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- 充電器の端子間は金属類でショートしないでください。充電器本体や金属が熱くなり、火災･やけどの原因となることがあります。
- 電話機のアンテナをもって持ち運んだり､アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。
- 十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性があります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 停電のときは、アナログコードレス電話機は使えません。
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
  - ・製氷倉庫などの特に温度が下がる場所。
  - ・塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
- 電気製品･AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など)。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。
- アナログコードレス接続装置のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。
  - ・内線電話機とアナログコードレス電話機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてからアナログコートレス接続装置を設置してください。
- アナログコードレス接続装置やアナログコードレス電話機と他の内線電話機が近いと雑音が入ることがあります。他の内線電話機から離してお使いください。
- アナログコードレス電話機のアンテナをのばしたり縮めたりすることはできません。アンテナを無理に引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- アナログコードレス電話機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電器に置いてください。
- 充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。
  - ・アナログコードレス電話機が充電できません。
  - ・アナログコードレス電話機のクイック発信が設定されている場合、充電中に充電器の電源アダプタが外れると、アナログコードレス電話機はお話し中の状態となります。
- アナログコードレス電話機の使用範囲について
  アナログコードレス電話機は、アナログコードレス接続装置からの電波が届く範囲でご利用いただけます。アナログコードレス接続装置は周囲に障害物がなく、見通しの良い、できるだけ高い場所に左右のアンテナを完全にのばして設置してください。通話可能な範囲内でも電波障害や環境条件･設置条件などにより電波が弱くなり、雑音が入る場所があります。内線通話を行って通話できる範囲や、雑音の入らない場所であることを確かめてからご利用ください。

お願い

● 電波干渉や、雑音について

本商品では、広い範囲でアナログコードレス電話機がご利用いただけるよう、アンテナ感度を高めておりますが、これによって電気製品などの電気雑音を受けやすくなる場合があります。これらの影響を受けると、通話に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。

ご使用にあたっては、以下の点にご注意ください。

① 設置について

アナログコードレス接続装置、およびアナログコードレス電話機は、金属製の家具を避けた場所で、主装置から4m以上離して設置してください。アナログコードレス電話機を複数台設置する場合は、アナログコードレス接続装置同士や、アナログコードレス電話機同士、およびアナログコードレス接続装置とアナログコードレス電話機間の距離についても、4m以上離して設置してください。近づけて使用すると、アナログコードレス電話機が着信しなくなることがあります。

また、AV機器、OA機器などに近いと、電気雑音の原因となりやすいので、アナログコードレス接続装置、アナログコードレス電話機を4m以上離してお使いください。

アナログコードレス接続装置を壁に掛けてお使いの場合は、アンテナを壁から約30°傾けてください。

② アナログコードレス接続装置のアンテナについて

上記の設置が困難な場合や、電波障害などによる雑音が解消できない場合、アナログコードレス接続装置のアンテナを縮めてご使用になるか、または、工事設定によって、雑音の影響を軽減できることがあります。

ただし、この場合は、アナログコードレス電話機のご利用可能範囲が狭くなります。(見通し通信距離約80m)詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。

● アナログコードレス電話機の電波表示について(電波の状態を確認する)

アナログコードレス電話機では、通話中に Tıll がディスプレイに表示されます。(待ち受け中は表示しない) T や Tı の表示のときは電波が弱く、通話に雑音が入ったり、通話が切れることがあります。

また、アナログコードレス接続装置から離れすぎると通話に雑音が入り、「ピッピッピッ・・・」という警告音が鳴ります。警告音が鳴ると約30秒で通話が切れますので、警告音が鳴らない距離まで接続装置に近づいてご利用ください。あらかじめ内線通話を行って、通話できる範囲や、雑音の入らない場所であることを確かめてからご使用になることをおすすめします。

● 防水機能について

本電話機は、防水対応ではありませんので以下のような使用はできません。

- ぬらさないでください。
- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水道水などの流水に直接当てないでください。
- 水滴がついた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 電話機に水滴がついたまま、充電器に戻さないでください。

● その他の注意事項

① 本商品以外の一般のアナログコードレス電話機や、コードレスFAXを同一電話回線に接続しないでください。電話がかかってきてもアナログコードレス電話機が着信しなくなります。

② 充電端子は乾いた布や、綿棒などでこまめに拭いてください。
汚れていると充電できません。また、汚れがたまると故障の原因となります。

③ アナログコードレス電話機での通話は、電波を使用しているため、第三者が故意に傍受することも考えられます。機密を要する重要な通話は、アナログコードレス電話機以外の内線電話機を使用されることをおすすめします。本商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。

④ アナログコードレス電話機の着信音は、他の内線電話機より遅れて鳴ります。また、アナログコードレス電話機を複数台使用する場合は、アナログコードレス電話機によっては鳴り始めが遅れるものがありますが、故障ではありません。

⑤ アナログコードレス電話機では、お話し中に相手の方が先に電話を切ったとき、「ビュッ」という音が聞こえます。また、お話し中に保留ボタンなどを押したときや相手の方より先に電話を切ったときは、相手の方に「ビュッ」という音が聞こえますが故障ではありません。

もくじ

はじめに

お使いになる前に

基本操作編

応用操作編

登録・設定編

オプション編

参　考

この取扱説明書は、７つの章に分かれています。

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

お使いになる前に

電話機を実際にお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

基本操作編

電話をかけたり、受けたり、保留するなどの基本的な操作について説明しています。

応用操作編

より便利にお使いになれる操作について説明しています。

登録・設定編

電話帳に登録する操作や、その他の設定する操作について説明しています。

オプション編

ファクシミリ、ドアホンなどのオプションをお使いの場合の操作について説明しています。

参考

付属品や添付品についての説明や、故障かなとお困りのときの確認方法などを説明しています。

この取扱説明書について

取扱説明書で使われているマーク、用語、表記について

操作説明ページで使われているマークについて

外線 ：外線でお使いになれる機能です。

内線 ：内線でお使いになれる機能です。

共通 ：外線、内線のどちらでもお使いになれます。

取付け時設定 ：このマークのついている機能をお使いになる場合には、取り付け時の設定が必要です。設定を変更する際には、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ ：この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や知っておくと便利な内容を示しています。

用語 / 表記方法について

● 「外線」を「回線」「局線」と表記する場合があります。
● 本文中のダイヤルボタンの表示は、数字のみを記載し、カタカナやアルファベットは省略しています。（例：1）
● フレキシブル ファンクションキーをFFキーと表記します。
● FFキーを機能ボタンとして使用する場合、本文中ではイラストで 外線 などと表記しています。
● 本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体および文字サイズは、実際とは異なる場合があります。

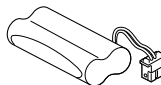
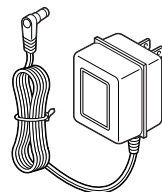
セットの確認

アナログコードレス電話機

■本体（1 式）

アナログコードレス電話機（1 台）

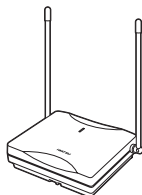
充電器（1 台）

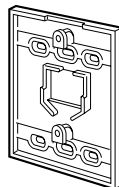
■付属品

電池パック（1 個）

電源アダプタ（1 個）

取扱説明書（1 部）
工事説明書（1 部）
操作早見表（1 部）
保証書（1 部）
機能キーラベル（1 部）

充電器用壁掛け木ネジ
（2 本）

アナログコードレス接続装置

■本体（1 台）

アナログコードレス接続装置

■付属品

壁掛け用品

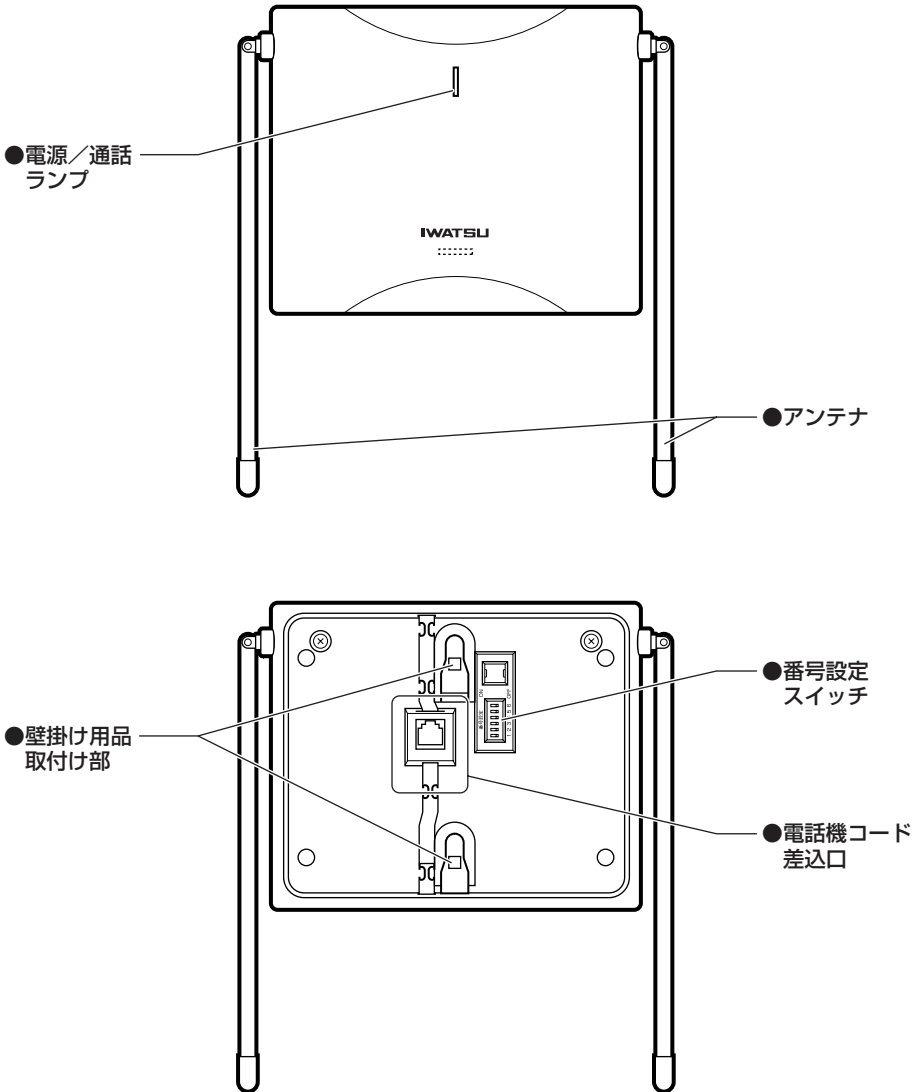
壁掛け木ネジ
（2 本）

機ひも

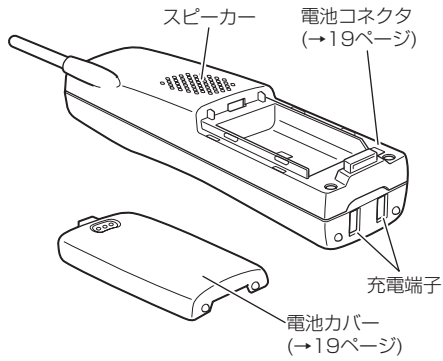
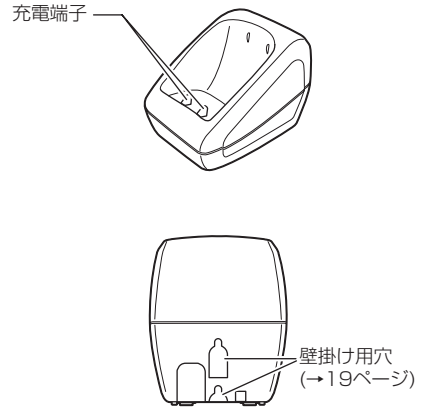
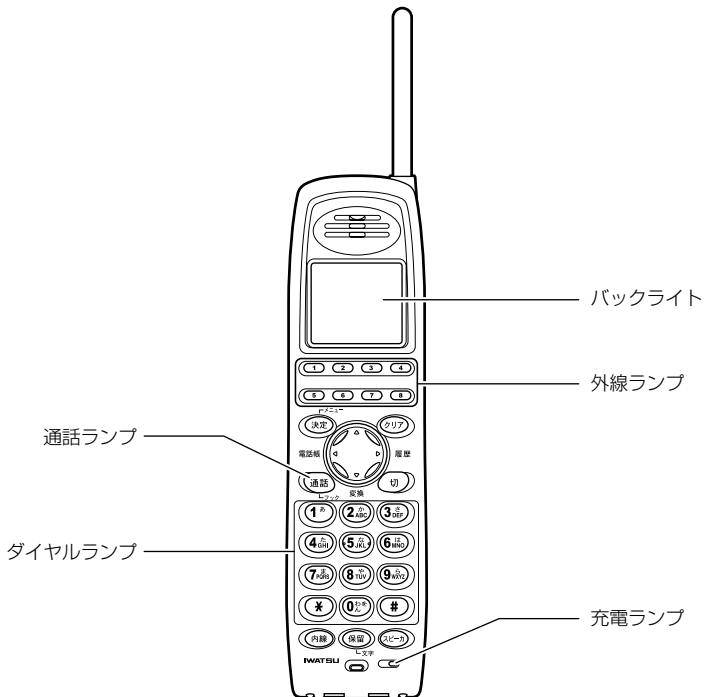
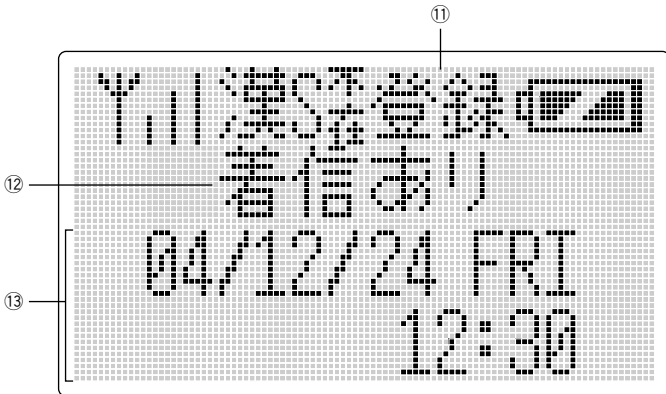
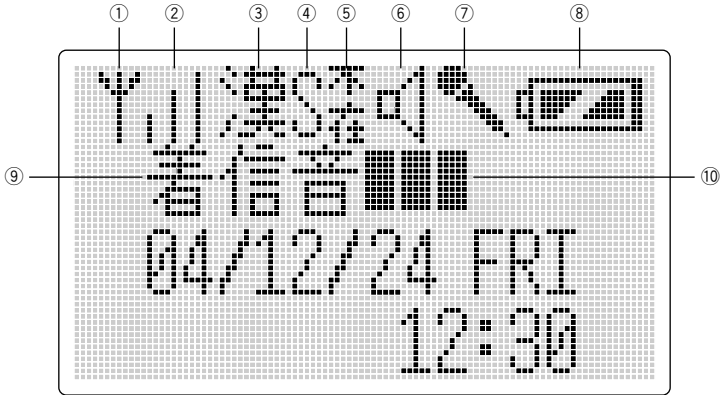
● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁･落丁があった場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

各部のなまえとはたらき

アナログコードレス電話機

アナログコードレス接続装置

電源／通話ランプの表示

ランプ	ランプのつき方	状　　態
電源／通話ランプ	点灯（緑）	アナログコードレス接続装置が主装置に接続されているとき アナログコードレス電話機を使用していないとき
	点灯（赤）	アナログコードレス電話機を使用しているとき

電池カバー内部

充電器

ランプ表示

液晶表示部の見方

■こんなときに表示されます

①		電波の届く場所で使用しているとき
②		受けている電波の強さ
③	漢	電話帳登録時の入力モードが「漢字」入力のとき
	カナ	電話帳登録時の入力モードが「カナ」入力のとき
	英	電話帳登録時の入力モードが「英字」入力のとき
	数	電話帳登録時の入力モードが「数字」入力のとき
④		着信音を鳴らさない設定になっているとき
⑤	不在	DND（ドンド・ディスターブ）、不在設定になっているとき
⑥		スピーカを使用しているとき
	／	ハンドセット通話をしているとき／通話中に受話音量を大レベルにしたとき
⑦		マイク機能をオンに設定しているとき（待ち受け中）／マイクに向かって応答できるとき
⑧		電池の残量
⑨	着信音	着信音量を変更しているとき
	スピーカ音	スピーカ音量を変更しているとき
⑩		着信音量、スピーカ音量の大きさ
⑪	登録	登録または設定の操作をしているとき
⑫	着信あり	かかってきた電話に応答しなかったとき
⑬	文字や数字	カレンダ･時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など（ナンバー・ディスプレイご利用時）、登録または設定の内容など

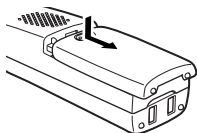
お知らせ

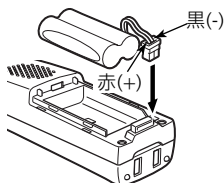
● アナログコードレス電話機では、カレンダ･時計の設定は必要ありません。一度通話を行うとディスプレイに表示されます。

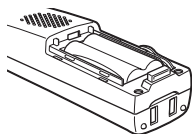
アナログコードレス電話機の準備

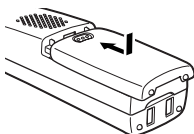
アナログコードレス電話機に電池パックを取り付ける

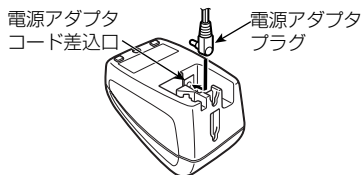
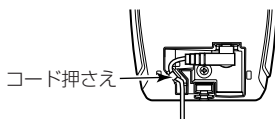
1 電池カバーを取り外す

電池カバーをスライドさせてから持ち上げるようにして取り外します。

2 電池パックのコネクタを接続する

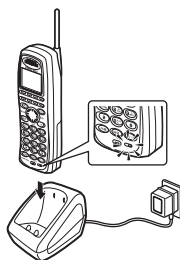
コネクタはコードの色に注意して最後まで確実に差込みます。

3 電池パックを入れる

余ったコードはケース内へ押し込んでください。

4 電池カバーを取り付ける

コードを挟まないように注意して、電池カバーをスライドさせ「パチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

アナログコードレス電話機を充電する

1 電源アダプタプラグを充電器の電源アダプタコード差込口に差込む

2 電源アダプタコードを充電器のコードおさえに引っかける

3 電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込む

4 アナログコードレス電話機を充電器に置く

充電ランプが緑色に点灯するので、そのまま7時間以上充電してください。

⚠注意	充電器の充電端子をクリップなどの金属類でショートさせないでください。火災や故障の原因となります。

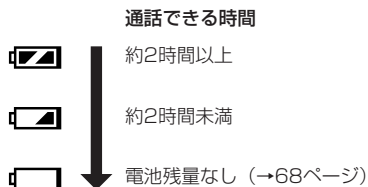
ご注意

- 電池カバーはしっかりと閉めてください。不十分だとカバーが外れ、電池パックが落下するおそれがあります。
- はじめてお使いのときや、電池パックを交換したときは必ず７時間以上充電してください。
- アナログコードレス電話機をご使用にならないときは、常に充電器に置いて充電するようにしてください。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用してください。
- 充電端子が汚れていると充電時間が長くかかったり、充電ができないことがあります。綿棒や乾いた柔らかい布でこまめに拭いてください。
- アナログコードレス電話機や充電器がぬれているときは、必ず乾いた布で拭き取ってから充電してください。

お知らせ

- **アナログコードレス電話機を充電器に置いた場合は**
  充電が開始されると、「ピッ」という確認音が鳴り、充電ランプが緑色に点灯します。またディスプレイのバックライトが 15 秒間点灯します。確認音が鳴らないようにすることもできます。（→ 50 ページ）
- 電池残量が完全にないときは、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。
- 充電ランプは、充電が完了しても緑色に点灯したままですが、そのままアナログコードレス電話機を充電器に置いたままでご使用になれます。
- 充電中は、充電器やアナログコードレス電話機底面があたたかくなることがありますが故障ではありません。

電池残量を確認する

電池残量は、ディスプレイに表示されます。電池残量は通話可能な目安の表示です。

電池パックを交換したときは、必ず7時間以上充電してください。（→ 19 ページ）

【電池の使用可能時間の目安】

条　　件	使用可能時間
待ち受け	約 150 時間
連続通話	約６時間

連続通話時間、連続待ち受け時間は7時間以上充電した場合の常温での算出値です。設置場所の気温や電波状況、充電電池の状態によって変わります。

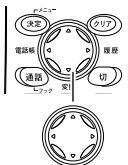
電話機の音量を調節する

電話機の音量を3段階で調節することができます。受話口やスピーカから聞こえる相手の声の音量（受話音量）と電話がかかってきたときの呼出音や着信音の音量（着信音量）を調節できます。

受話音量を調節する

通話中の場合

1 を押す

▼ を押すと小さくなります。

▲ を押すと大きくなります。

お知らせ

● 通話が終わったあとの次の通話のときも、設定された音量のままになっています。

スピーカ音量を調節する

1 (スピーカ) を押す

2 ◎ を押す

3 (スピーカ) を押す

お知らせ

● スピーカ受話中にスピーカ音を調節するには、操作２のみを行います。

着信音量を調節する

着信音が鳴っている場合および待ち受け中の場合

1 ◎ を押す

▼ を押すと小さくなります。

▲ を押すと大きくなります。

お知らせ

● ◎ (▼)を2秒以上長押しすると、着信音を鳴らさなくすることができます。
着信音を鳴らさなくしている状態でも、内線からの着信は、着信音が聞こえます。

電話をかける

外線 外線へかける

1 充電器から取り上げ （通話） を押す

● 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点滅します。

2 電話番号をダイヤルする

3 （#） を押す

● （#） を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は６秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。

お知らせ

● 特定の外線を使って発信したいときは （通話） の代わりに使いたい 外線 を押してください。（このページ以降の外線へかける操作でも共通です）

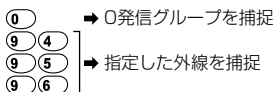
● 使いたい 外線 を押した際、ランプが消灯していても、他の人が使用中の場合や保留中の場合があります。他の人が使用中の場合、「プープー・・・」と話中音が聞こえます。他の人が保留中の場合、ランプ表示が更新されますので、消灯している 外線 を押し直してください。

● 外線 を押す際にあらかじめ 外線 の使用状態を確認したい場合は、（クリア） を押してください。 外線 の使用状態（ランプ表示）が更新されます。

● （通話） を押す代わりに （内線） を押したあと下記のボタンを押してもかけられます。（自動選局発信）

取付け時設定 ※

（0） ➡ 0発信グループを捕捉

（9）（4）
（9）（5）
（9）（6） ➡ 指定した外線を捕捉

● 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、（切） を押さずに （通話） を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号をダイヤルしてください。

● 電話番号をダイヤルするときは、間違い電話を防ぐため、「ツー」という音を確認してから正確にダイヤルしてください。

● TELEMORE-IP を構内交換機に接続している場合は、操作２で電話番号の前に外線発信番号（例 :（0））を押してください。

● 電話（アナログ）回線でお使いの場合は、電話番号を押したあとの （#） の操作は不要です。

※：外線設定 0X02

内線 内線へ電話をかける（内線トーン呼出）

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 内線番号をダイヤルする

音声で呼び出すには（内線音声呼出）

電話をかけた相手を、呼出音の代わりに音声で呼び出します。

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 内線番号をダイヤルする

3 （1） を押す

4 呼びかける

相手に予告音（プー）を流すことができます。

取付け時設定

お知らせ

● 音声で呼び出した場合、トーン呼出に変更できません。

● クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作１は充電器から取り上げるだけで、（内線） を押す操作は必要ありません。

● アナログコードレス電話機を内線トーン呼出しているときに （1） を押しても、内線音声呼出には切り替わりません。

共通 電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルした電話番号を確認してから電話をかけることができます。

1 充電器から取り上げ、電話番号をダイヤルする

外線にかける場合

2 （通話）を押す

内線にかける場合

2 （内線）を押す

お知らせ

- 電話番号を間違えてダイヤルした場合、（クリア）を押して最初からやり直してください。
- 約30秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

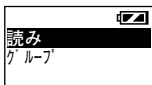
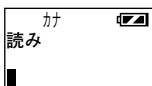
登録した電話番号に電話をかける（電話帳・短縮ダイヤル）

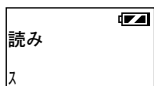
共通　電話帳を検索して電話をかける

電話帳を使って、名前やグループを検索して電話をかけることができます。（電話帳発信）

読みで検索する

〈例〉「鈴木」にかけるとき（読み：すずき）

1 充電器から取り上げ、電話帳 を押す

2 （▲▼）を押して、「フリガナ検索」を選び、決定 を押す

3 3 を３回押す

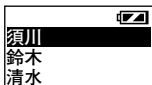
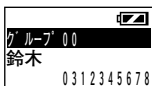
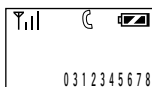
「サ」→「シ」→「ス」の順に表示されます。

4 決定 を押す

「ス」で始まる名前から順番に表示されます。

5 （▲▼）を押して、「鈴木」を選び、決定 を押す

選択した登録内容が表示されます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ00
鈴木
0312345678

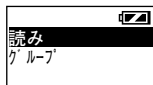
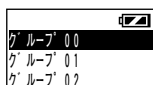
6 通話 を押す

表示されている電話番号がダイヤルされます。

7 相手の方が出たらお話しをする

お知らせ

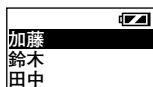
- 操作5で 決定 ボタンではなく、通話 ボタンを押すと電話番号がダイヤルされます。
- 電話帳に何も登録していないときは、「該当データがありません」と表示されます。

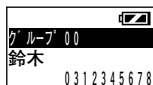
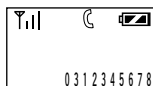
グループで検索する

〈例〉グループ00に登録した「鈴木」にかけるとき

1 充電器から取り上げ、電話帳 を押す

2 （▲▼）を押して、「グループ検索」を選び、決定 を押す

3 （▲▼）を押して、グループ00を選び、決定 を押す

- グループ名を変更するには（→ 44 ページ）
- グループ内ではフリガナの 50 音順に表示されます。

4 （▲▼）を押して、「鈴木」を選び、決定 を押す

選択した登録内容が表示されます。

5 通話 を押す

表示されている電話番号がダイヤルされます。

6 相手の方が出たらお話しをする

お知らせ

- 操作4で 決定 ボタンではなく、通話 ボタンを押すと電話番号がダイヤルされます。
- 電話帳に何も登録していないときは、「該当データがありません」と表示されます。

基本操作編

共通 短縮番号でかける（共通短縮ダイヤル）

1 充電器から取り上げる

2 電話帳 を２回押す

3 短縮番号を押す

共通短縮ダイヤル：
0 0 ～ 7 9 または、
0 0 0 ～ 7 9 9 取付け時設定 ※

お知らせ

- アナログコードレス電話機から短縮ダイヤルに電話番号を登録することはできません。登録を行う場合はデジタル多機能電話機（システム電話機）から行ってください。詳細はテレモア EX 取扱説明書をご参照ください。
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号の末尾に # が含まれていない場合は、操作３のあとに # を押してください。ただし、短縮ダイヤルで # を登録していない場合でも設定した時間（取付け時の設定は２秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。
- 外線を捕捉中に操作２を行っても、短縮番号でかけることはできません。
- クイック発信の設定が行われている状態で操作１を行うと、内線へかけられる状態になっており、操作２および３を行っても短縮発信できません。一度 切 を押してから再度操作２および３を行ってください。

※：システム設定 0006

共通 ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録されている電話番号を使って電話をかけることができます。

1 充電器から取り上げ、ワンタッチボタンを押す

登録されている電話番号と名前が表示されます。

2 通話 ボタンを押す

表示されている電話番号がダイヤルされます。

3 相手の方が出たらお話をする

お知らせ

- **登録されていないワンタッチボタンを押したときは**
  ディスプレイにはワンタッチボタンの番号が表示されます。

電話を受ける

外線　外線を受ける

1 着信音が鳴る

- 外線ランプが赤色に点滅します。

2 充電器から取り上げ （通話） を押す

お知らせ

- 着信音が鳴っていない電話機で外線を受けるには、充電器から取り上げてから （クリア） を押し、ランプが点滅している 外線 を押します。

2つ以上の外線が着信している場合

複数の外線が着信している場合、外線を選んで電話を受けることができます。

1 着信音が鳴る
複数の外線ランプが赤色に点滅します。

2 充電器から取り上げる

3 ランプが点滅している 外線 を押す

お知らせ

- クイック通話（→ 50 ページ）を設定しておくと充電器から取り上げるだけで外線を受けることができます。
- 発信者の電話番号が通知された場合には、電話がかかってきたときに相手の電話番号が液晶表示部に表示されます。電話に出ると、電話番号は消えます。共通短縮ダイヤルが登録されている場合は、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。
  取付け時設定 ※
  電話帳が登録されていると、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。
- 内線音声呼出は、通常の内線呼出に比べ若干呼出時間がかかります。

※：システム設定 0102

内線　内線を受ける

1 着信音または音声が聞こえる

2 充電器から取り上げ （通話） を押す

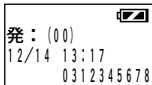
お知らせ

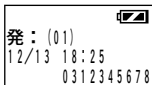
- （内線） を押しても着信を受けることはできません。
- 内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。
- 内線音声呼出をされた場合は、あらかじめ内線ハンズフリー応答を設定して、マイクに向かって話す方法で応答することもできます。詳細は 34 ページをご参照ください。

発信履歴 / 着信履歴を利用して電話をかける

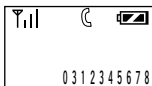
かけた電話番号の最後の10件は、履歴ボタンで簡単に電話をかけることができます。相手の方がお話し中でかけ直すときなどに便利です。1件につき最大24桁まで記憶されます。

外線 発信履歴から電話をかける

1 充電器から取り上げ、(履歴)を押す

最後にかけた相手の電話番号と日付および時刻が表示されます。
また、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録されているときは名前が表示されます。

2 さらに前にかけた電話番号を選ぶときは、(変換)を繰り返し押す

最大10件前まで順に電話番号が表示されます。10件前の電話番号が表示されているとき、さらに(▼)を押すと、最後にかけた電話番号に戻ります。

3 かけ直したい番号が表示されたら(通話)ボタンを押す

表示されている電話番号がダイヤルされます。

4 相手の方が出たら、お話をする

お知らせ

- 発信履歴に記憶されている電話番号を消去するには
  ① 外線ランプや通話ランプが消えている状態で、(▶)を押し、(▼)で消去したい電話番号を表示させる
  ② (クリア)を押す
  ディスプレイに「消去しました」と表示されます。

- (通話)を押したあとに、電話番号をダイヤルボタンで押した場合の発信操作では、通話中のダイヤルボタン操作も発信履歴として含まれます。
  例)(通話)→電話番号を押してかけた場合
  0312345678(電話番号)
  ↓
  1#(通話中)
  ↓
  03123456781#(発信履歴)
  また、電話番号をダイヤルボタンで押したあとに、(通話)を押した場合(プリセットダイヤル)の発信操作では、(通話)を押すまでの操作が発信履歴として残ります。
- 一般回線とPBX、CES回線を混在収容しているときは発信履歴でかけ直すことができない場合があります。
- 発信履歴(01)～(04)で電話をかけたときの履歴は、次のようになります。
  例:発信履歴(02)で電話をかけた場合

発信履歴(02)3333で電話をかけたとき

前		後
発信履歴(00)1111		発信履歴(00)3333
発信履歴(01)2222		発信履歴(01)1111
発信履歴(02)3333		発信履歴(02)2222
発信履歴(03)4444		発信履歴(03)4444
発信履歴(04)5555		発信履歴(04)5555

- 内線へおかけになったときは、発信履歴の対象になりません。
- 電話帳または、ワンタッチダイヤルで電話をかけた場合は、発信履歴に名前が記憶されます。
- 電話帳または、ワンタッチダイヤルに登録している電話番号をかけた場合は、名前が記憶されます。
- 発信履歴表示中に(決定/メニュー)を押すと、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録することができます。
  ①発信履歴表示中に(▲▼)で登録する電話番号を選び、(決定/メニュー)を押す。
  ②ワンタッチダイヤルに登録するときは:
  (▲▼)で「1:ワンタッチダイヤル登録」を選び(決定/メニュー)を押し、登録するワンタッチボタンを押して(決定/メニュー)を押します。
  電話帳に登録するときは:
  「電話番号を登録するには(電話帳)」(→44ページ)の操作をしてください。
- 局線を捕捉したあとに(▶)を押すと、最後に発信したダイヤルで発信します。

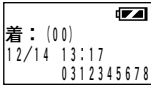
アナログコードレス電話機にかかってきた相手の電話番号などを表示し、かけ直すことができます。
かかってきた電話番号は、最新のものから順に最大10件、1件につき最大24桁まで記憶されます。この機能をご利用いただくには、ナンバー・ディスプレイなどの契約が必要です。

外線 着信履歴から電話をかける

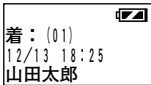
1 **充電器から取り上げ、履歴 を押す**

2 **再度、履歴 を押す**

最後にかかってきた相手の電話番号と日付および時刻が表示されます。
また、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録されているときは名前が表示されます。

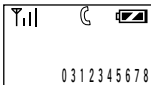
着：(00)
12/14 13:17
0312345678

3 **さらに前にかかってきた電話番号を選ぶときは (▼)を繰り返し押す**

最大10件前まで順に電話番号が表示されます。

着：(01)
12/13 18:25
山田太郎

10件前の電話番号が表示されているとき、さらに (▼)を押すと、最後にかかってきた電話番号に戻ります。

4 **かけ直したい番号が表示されたら 通話 を押す**

表示されている電話番号がダイヤルされます。

0312345678

5 **相手の方が出たら、お話をする**

お知らせ

● 着信履歴に記憶されている電話番号を消去するには
① 外線ランプや通話ランプが消えている状態で、 (▶)を2回押し、 (▼)で消去したい電話番号を表示させる
② クリア を押す
ディスプレイに「消去しました」と表示されます。

● 内線からかかってきたときは、着信履歴の対象になりません。

● かかってきた電話番号が電話帳または、ワンタッチダイヤルに登録されている場合は、名前が記憶されます。

● 着信履歴表示中に 決定 を押すと、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録することができます。
①着信履歴表示中に (▲▼)で登録する電話番号を選び、決定 を押す。
②ワンタッチダイヤルに登録するときは：
(▲▼)で「1：ワンタッチダイヤル登録」を選び 決定 を押し、登録するワンタッチボタンを押して 決定 を押します。
電話帳に登録するときは：
「電話番号を登録するには（電話帳）」(→44ページ)の操作をしてください。

● PBXやCES（事業所集団電話）の内線に接続されているときは、1回の着信で着信履歴に2件記憶される場合があります。

基本操作編

保留・転送する

外線　外線を保留・転送する

保留または口頭で取り次ぐ

1 通話中に (保留) を押す
- 外線ランプが緑色におそく点滅し、相手には保留音が流れます。

2 (切) を押す

通話に戻るとき

3 (内線) を押す

4 保留中の 外線(緑色に遅く点滅) を押す

口頭で転送するとき

3 呼び出したい人に、電話が入っていることを伝える
- 「外線×番に電話です。」

転送を受ける人

4 充電器から取り上げ (クリア) を押す

5 保留されている 外線(赤色点滅) を押す
- 保留が解除され、外線の相手と通話できます。

お知らせ
- ISDN 回線を使った通話を保留中に、保留相手の方が電話を切ってしまった場合、外線 ランプは消えます。
- ISDN 回線で電話をかけた場合には、相手が応答するまでは保留または転送できません。

内線番号で転送する

1 通話中に (保留) を押す
- 外線ランプが緑色におそく点滅し、相手には保留音が流れます。

2 転送先の内線番号をダイヤルする

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える
- 転送先が応答しないときは、保留中の 外線 を押すと、再度外線との通話に戻ります。

4 (切) を押す

お知らせ
- (切) を押したときに転送をするための設定をする必要があります。取付け時設定※
- 外線を保留した後に、違う相手と通話しているときに (切) を押すと、保留した外線は転送されます。

※：システム設定 0027

内線 内線を保留・転送する

保留する

1 内線との通話中に （保留） を押す

2 （切） を押す

通話に戻るとき

3 （内線） を押す

4 （保留） を押す

内線番号で取り次ぐ

1 内線との通話中に （保留） を押す

2 転送先の内線番号をダイヤルする

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

4 確認/会議 を押す

- ３者通話になります。

5 （切） を押す

- 通話が転送されます。

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ 確認/会議 機能を設定しておく必要があります。取付け時設定※

※：システム設定　1101 ～ 1108
　　FF キー設定　 XX01 ～ XX08

他の電話機で内線を受ける(内線代理応答)

呼び出されている電話機に代わって、他の電話機から電話を受けることができます。

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (*) (*) を押す

- 内線を受けられます。

お知らせ

- クイック発信 (→50ページ) の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、(内線) を押す操作は必要ありません。
- 同一呼出グループ内の電話機のみ代理応答できます。
- ドアホンからの呼び出しに対しても代理応答できます。
- 内線ハンズフリー応答設定時の音声呼出には代理応答できません。

電話をかけるときの機能

外線 外線を指定して電話をかける

0発信グループ（→59ページ）以外の外線を使って電話をかける場合は、以下の方法で行います。

1 充電器から取り上げ 内線 を押す

2 使いたい 外線 を押す

- 外線ランプが緑色に点滅します。

3 電話番号をダイヤルする

4 # を押す

お知らせ

- 使いたい 外線 を押した際、ランプが消灯していても、他の人が使用中の場合や保留中の場合があります。他の人が使用中の場合、「プープー・・・」と話中音が聞こえます。他の人が保留中の場合、ランプ表示が更新されますので、消灯している 外線 を押し直してください。
- 外線 を押す際にあらかじめ 外線 の使用状態を確認したい場合は、クリア を押してください。外線 の使用状態（ランプ表示）が更新されます。
- 電話（アナログ）回線でお使いの場合は、操作４は不要です。
- 操作２で、外線 を押す代わりに、以下の方法で使いたい外線を指定することもできます。
  - ・外線発信番号（0、9 4、9 5、9 5）を押す。
  - ・* と指定する外線の外線番号（0 1～0 8）を押す。
- クイック発信（50ページ）の設定をしておくと、操作１は充電器から取り上げるだけで 内線 を押す操作は必要ありません。

電話を受けるときの機能

内線 内線音声呼出に受話器を取らずに応答する（内線ハンズフリー応答）

音声で内線が呼び出されたときに、受話器を取らずに応答できます。（内線ハンズフリー応答）
手が離せない作業をしているときなどに便利です。

内線ハンズフリー応答を設定する

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 （マイク） を押す

3 （切） を押す
- マイクピクトが点灯します。

解除するには

上記と同じ操作を行ないます。操作3でマイクピクトが消えます。

内線ハンズフリー応答を設定すると

内線音声呼出（→22ページ）されたときは、この方法で応答できます。
受話器を取って応答することもできます。

1 呼び出されると電話機から音声が聞こえる

2 マイクに向かって話す
- （通話） を押して通話することもできます。

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ （マイク） 機能を設定しておく必要があります。取付け時設定※
- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、（内線） を押す操作は必要ありません。
- 内線ハンズフリー応答での通話は、保留にすることはできません。
- ハンズフリー応答通話中は転送を受けることができません。（通話） を押して応答してください。
- 電話機のマイクから約50cm以内を目安にお話ください。

※：システム設定　1101～1108
　　FFボタン設定 XX01～XX08

外線 擬似話中返し

設定する

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 着信をコントロールしたい外線の （外線） を押す
- 外線ランプが緑色点灯し、ダイヤルトーン「ツー」が聞こえます。

3 （保留 └文字） を押す
- 外線ランプが緑色点滅になり、他の電話機の外線ランプは赤色点滅になります。
- 設定すると、その外線にかけた相手には「ツーツー」音（話中音）が聞こえます。

4 （切） を押す

解除するには

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 解除したい外線の （外線） を押す
外線ランプは緑色点灯になります。

3 （切） を押す
外線ランプは消灯し、他の電話機の外線ランプも消灯します。

操作のヒント

- 複数の外線の使用を中止したい場合は、外線数分、擬似話中返し設定する操作を行ってください。

お知らせ

- 擬似話中返しを設定した局線へ電話がかかった場合、システムには着信履歴が記録されます。
電話機の着信履歴には記録されません。
- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、（内線） を押す操作は必要ありません。
- 疑似話中返し機能の詳細については、テレモアEX取扱説明書をご参照ください。

通話中の機能

外線 通話中に電話を受ける（話中時着信）

通話中に外線から着信があった場合、着信があったことを音でお知らせします。
また、簡単な操作で着信している外線に応答することができます。
通話中に「プッブップッ」と聞こえたら、以下の操作を行ってください。

1 クリア を押す
- 着信している外線が赤く点滅していることを確認してください。

通話相手とのお話しを終わらせて着信している外線を受ける場合

2 切 を押す
- 着信音が鳴ります。

3 通話 または着信している 外線 を押す

通話相手に待っていただいて着信している外線を受ける場合

2 保留 を押す
- 相手に保留音が流れます。

3 切 を押す
- 着信音が鳴ります。

4 通話 または着信している 外線 を押す

お知らせ

- 内線からの着信も音でお知らせする場合、設定が必要です。取付け時設定 ※
- 保留した相手と再度お話しがしたいときは、保留されている 外線 を押してください。

※：電話機設定 XX18

外線 特定のグループへ転送する

転送する相手の居場所がはっきりしない場合に、グループ別またはすべての電話機を音声で呼び出して転送します。

1 通話中に 保留 を押す
- 外線ランプが緑色におそく点滅します。

2 # を押す

3 呼出番号を押す

0 ：一斉呼出
1 ：第１グループ
2 ：第２グループ
3 ：第３グループ
4 ：第４グループ
9 ：外部スピーカ

4 転送する相手を呼び出す

「○○さん電話です」

アナログコードレス電話機で転送を受ける人

5 充電器から取り上げ 内線 # # を押す

6 （転送先が応答したら） 切 を押す
- 外線ランプが赤色に点灯します。

お知らせ

- 切 を押したときに転送をするための設定をする必要があります。取付け時設定 ※
- 外線を保留したあとに違う相手と通話しているときに 切 を押すと、保留した内線は転送されます。

※：システム設定 0027

外線 プッシュ信号を送る

通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。ISDN回線をお使いの場合は、そのままプッシュ信号を送ることができます。通話中にサービス先のアナウンスに従ってダイヤルボタンを押します。

電話（アナログ）回線のダイヤル回線をお使いの場合は、下記の操作を行います。

1 外線のサービス先に電話をかける

2 電話がつながったら、(＊) または (#) を押す

- プッシュ信号が送れるようになれます。(＊) または (#) は、プッシュ信号として送出されることはありません。
- 以降の操作は、サービス先のアナウンスに従ってください。

お知らせ

- 取付け時の設定により、(＊) または (#) を押さなくてもプッシュ信号を送ることができます。
取付け時設定 ※

※：外線設定 0X09 ビット 1

外線 外線通話に割り込む

通話中に他の人を割り込ませる方法（秘話解除）と、他の人が外線と通話中に割り込んで通話する方法（バージ・イン）の２種類があります。

他の人を割り込ませる（秘話解除）

外線通話中に他の人を割り込ませて、3人で通話することができます。

1 外線通話中に (確認/会議) を押す

2 割り込む人に (外線) の番号を知らせる

割り込む人

3 充電器から取り上げ (内線) を押す

4 割り込みたい (外線)（赤色点灯）を押す

5 ３人で通話する

お知らせ

- 操作１～４は 15 秒以内で行ってください。15 秒を超えてしまった場合は、操作１からやり直してください
- 外線通話に割り込ませられる電話機は１台のみです。

外線通話に割り込む（バージ・イン）取付け時設定※1

外線通話割込を設定した電話機から、通話中の外線に割り込んで通話することができます。

1 （割り込む人が）充電器から取り上げ 内線 を押す

2 割り込みたい 外線（赤色点灯）を押す

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ 確認/会議 機能を設定しておく必要があります。取付け時設定※２
- 割り込む人に外線の番号を知らせる際に、使用している外線を確認する場合、外線ランプが消えている場合があります。そのときは クリア を押して、緑色に点滅している外線の番号を確認してください。
- 外線通話に割り込める電話機は１台のみです。
- 割り込んだときに、割り込まれた人には割り込んだ電話機の内線番号が表示されます。
- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、内線 を押す操作は必要ありません。

※１：電話機設定　XX19ビット４
※２：システム設定　1101～1108
　　　FFボタン設定　XX01～XX08

共通　３人で会議通話をする

外線または内線との通話中に、別の内線（第３者）の人を加えて３人で通話することができます。

1 通話中に 保留 を押す

- 通話が保留になります。

2 加える人（第３者）の内線番号をダイヤルする

3 加える人（第３者）が電話に出たら、確認/会議 を押す

- 会議状態（３人で通話できる状態）になります。

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ 確認/会議 機能を設定しておく必要があります。取付け時設定※
- 会議通話は同時に２組までできます。
- 会議通話中は通話を保留にできません。
- 外線２人と内線１人では会議通話できません。
- 会議通話中はプッシュ信号を送出できません。

※：システム設定　1101～1108
　　FFボタン設定 XX01～XX08

音声で一斉またはグループ別に内線を呼び出す 取付け時設定

内線から特定のグループ別、またはすべての電話機でスピーカーから呼び出すことができます。

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 （#） を押す

3 呼出番号を押す

（0） ：一斉呼出
（1） ：第１グループ
（2） ：第２グループ
（3） ：第３グループ
（4） ：第４グループ
（9） ：外部スピーカ

4 相手を呼び出す

5 （呼び出された相手が）充電器から取り上げ （内線） を押す

6 （呼び出された相手が） （#）（#） を押す

- 呼び出した相手と通話できます。

お知らせ

- 操作４で、お話し中の電話機は音声呼出できません。
- 外部スピーカを設定中は、操作３で一斉呼出すると外部スピーカでも呼び出すことができます。
- 外部スピーカの場合、予告音を出すこともできます。予告音を出すまでの時間は変えられます。取付け時設定※ 予告音のあとに呼び出してください。
- アナログコードレス電話機に対して、音声で一斉またはグループ別に呼び出した場合、他の電話機より呼び出しが遅くなることがあります。
- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、（内線） を押す操作は必要ありません。

※：システム設定 0025
　　システム設定 9014

かかってきた電話を他の電話機に転送する（不在転送）

席を離れるときにあらかじめ設定しておくと、外線または内線（ドアホンは除く）がかかってきた場合は別の内線電話機に転送することができます。

不在転送を設定する

1 充電器から取り上げ（内線）を押す

2 （9）（0）を押す

3 転送先の内線番号を押す

- 不在ピクトが点灯します。

4 （切）を押す

不在転送を解除するには

1 充電器から取り上げ（内線）を押す

2 （9）（0）を押す

3 （#）を押す

- 不在ピクトが消灯します。

4 （切）を押す

お知らせ

- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、（内線）を押す操作は必要ありません。
- 夜間に不在転送するときなどに、不在転送先に留守番電話を指定しておくと、電話がかかってきたときにメッセージを録音することができます。
- 不在転送は、ドントディスターブ（DND）（→40ページ）、着信転送（個別着信）（→テレモアEX取扱説明書149ページ）と同時に設定できません。
- 転送先の内線番号を押すときに、不在転送やドントディスターブ（DND）されている電話機を指定できません。
- 操作2は（＊）（9）（0）とすることもできます。取付け時設定※1
- 不在転送できる外線からの着信は、通常の着信、ダイレクト・イン・ライン、NTTダイヤルイン、サブアドレスの着信です。ただし、通常の外線からの着信は不在転送しないようにすることもできます。取付け時設定※2

※1：システム設定　0053
※2：外線設定　　　0X12ビット1

かかってきた電話をつながらないように設定する（ドント・ディスターブ（DND））

設定しておくと、席を離れたときや電話に出られないときに、外線または内線（ドアホンを含む）からかかってきても着信音が鳴りません。

ドント・ディスターブ（DND）を設定する

1 充電器から取り上げ 内線 を押す

2 9 0 を押す

3 # を押す

- 不在ピクトが点灯します。

4 切 を押す

ドント・ディスターブ（DND）を解除するには

1 充電器から取り上げ 内線 を押す

2 9 0 を押す

3 # を押す

- 不在ピクトが消灯します。

4 切 を押す

お知らせ

- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、内線 を押す操作は必要ありません。
- ドント・ディスターブ（DND）を設定中は、外線からかけた人には呼び出している音が聞こえます。内線からかけた人にはお話し中の音（ツーツーツー）が聞こえます。
- ドント・ディスターブ（DND）は、不在転送（→39ページ）、着信転送（個別着信）（→主装置取扱説明書149ページ）と同時に設定できません。
- 操作2は ✱ 9 0 とすることもできます。取付け時設定※
- ドント・ディスターブ（DND）を設定していると、外線から電話がかかってきても着信音が鳴らないものは、通常の着信、ダイレクト・イン・ライン、NTTダイヤルイン、サブアドレスの着信です。

※：システム設定 0053

タイムコールを設定する

タイムコールを設定しておくと、その電話機から指定した時刻にタイムコールを鳴らすことができます。

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (＊) (8) (7) を押す

3 タイムコールを設定する時刻を押す

- 設定したい時間、分を入力してください。
  (例：午後1時30分の場合 (1) (3) (3) (0))
- 24 時間制で４ケタの数字を入力してください。

4 (保留 文字) を押す

5 (切) を押す

お知らせ

- タイムコール時刻を変更する場合は、操作１からやり直してください。
- 設定したタイムコール時刻を確認するには、操作１と操作2を行います。設定した時刻を確認したら、(切) を押して表示を戻してください。
- タイムコールの設定を解除するには、操作３を抜いて行ってください。

指定した時刻になると

1 タイムコールが鳴る

2 (通話) を押す

タイムコールが止まります。

3 (切) を押す

お知らせ

- 操作２を行わないと、約 16 秒後に自動的に止まります。
- タイムコールが鳴ると、タイムコールの設定は解除されます。再度タイムコールを鳴らしたい場合は、そのたびに設定し直してください。
- クイック発信 (→50ページ) の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、(内線) を押す操作は必要ありません。

FF キーに機能を設定する

外線ボタンに設定していない FF キーは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (#) を押す

3 設定したい FF を押す

4 設定したい機能の設定番号を押す

- 設定番号については、「FF キーに設定できる機能」（→ 42 ページ）をお読みください。
- 最大４ケタまで入力できます。

5 (保留) を押す

- 「プー」という音が聞こえたら、設定は完了です。
- 続けて設定するときは操作２～５を行います。

6 (切) を押す

消去するには

上記の操作４を抜いて操作します。

設定番号を確認するには

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (＊) を押す

3 確認したい FF を押す
設定番号を確認します。

4 (切) を押す

お知らせ

- クイック発信（→ 50 ページ）を設定しておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、(内線) を押す操作は必要ありません。

FF キーに設定できる機能

取 取付け時に設定が必要です。※ 1

機　能	設定番号	参照ページ
内線で呼び出す（信号音呼出）	内線番号	22
内線で呼び出す（音声呼出）	内線番号と(1)	22
ドント・ディスターブ（DND）	(9)(0)(#)	40
不在転送	(9)(0)内線番号	39
ドント・ディスターブ（DND）の解除	(9)(0)(#)	40
不在転送の解除	(9)(0)(#)	39
ドアホンAに応答	(9)(1)	56
ドアホンBに応答	(9)(2)	56
取 外線特番捕捉	(9)(4)～(9)(6)	33
取 電気錠A施錠/解錠	(＊)(6)(7)	57
取 電気錠B施錠/解錠	(＊)(6)(8)	57
タイムコール時刻設定	(＊)(8)(7)	41
自己内線番号表示	(＊)(8)(8)	–
内線代理応答	(＊)(＊)	32
取 一斉呼出	(#)(0)	38
取 グループ呼出	(#)(1)～(#)(4)	38
取 外部スピーカ	(#)(9)	55
取 一斉・グループ呼出に応答	(#)(#)	32
共通短縮ダイヤル用短縮ボタン　※2	(9)(7)	–

※ 1 取付け時に設定が必要な機能は、それぞれの参照ページをご覧ください。
※ 2 このキーで発信する場合には、外線を捕捉する前にこのキーを押してください。

ご注意

- 設定番号は最大４ケタまで入力できます。内線番号が３ケタの場合、「不在転送設定」など登録できない機能もありますのでご注意ください。

機　　能	設定番号	参照ページ
自動転送（一般着信）	(*)(6)(4)(0)	39
自動転送（ダイヤルイングループ着信）	(*)(6)(4)(1)～(*)(6)(4)(8)	39
留守録設定／解除	(*)(6)(3)	52
通話録音開始／終了	(*)(6)(9)(0)	53
留守録再生	(*)(6)(9)(1)	52
通話録音再生	(*)(6)(9)(2)	53

お知らせ

● 下記の機能をFFキーに設定する場合、アナログコードレス電話機からの設定操作ではできません。設定方法については、お買い上げの販売店にご相談ください。

取付け時設定 ※1

機　　能	設定番号	参照ページ	
取 転送ボタン	(短縮)(#)(1)	–	※2
取 確認 / 会議ボタン	(短縮)(#)(2)	36	
取 切換ボタン	(短縮)(#)(4)	–	※3
取 マイクボタン	(短縮)(#)(0)	34	
取 ファクスに転送	(短縮)(9)(*)	58	
取 着信中手動転送	(短縮)(#)(5)	–	※4

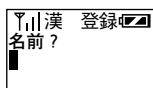
※ 1：システム設定　1101 ～ 1108
　　　FF ボタン設定　XX01 ～ XX08
※ 2：テレモア EX 取扱説明書 142 ページ
※ 3：テレモア EX 取扱説明書 141 ページ
※ 4：テレモア EX 取扱説明書 164 ページ

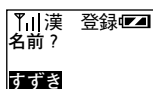
電話帳に電話番号や名前を登録する

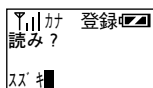
電話帳は 100 件まで登録できます。

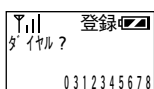
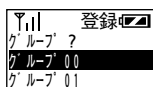
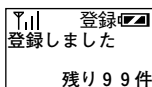
電話帳を登録する

1 充電器から取り上げ、決定（メニュー）を押す

2 (▲▼)を押して、「電話帳登録」を選び、決定（メニュー）を押す

3 名前を入力する

名前を入力する（→ 45 ページ）
名前は全角 8 文字、半角 16 文字まで登録できます。

4 読みを入力する

読みを入力する（→ 45 ページ）
読みは半角で 16 文字まで登録できます。

5 電話番号を入力する

電話番号は 24 桁まで登録できます。

6 決定（メニュー）ボタンを押す

7 (▲▼)で、登録するグループを選び、決定（メニュー）を押す

電話帳に登録されます。

お知らせ

- 電話番号にポーズ（約3秒間）を入れて登録するには、ポーズを入れたいところで 保留（文字）を押します。
  保留（文字）を押すことにより、3 秒のポーズが入ります。
  ポーズも 1 桁として登録され、ディスプレイには「–（ハイフン）」が表示されます。
- 登録中に「ピピピピピ」という音が鳴ったら、登録エラーですので、もう一度始めから登録操作をし直してください。
- 操作を間違えたときは、クリア を押して前の画面に戻るか、切 を押し、最初から登録操作をし直してください。
- グループ名を変更するには
  お買い求め時のグループ名は「グループ00～09」として登録されています。このグループ名称を変更することができます。全角 8 文字、半角 16 文字まで登録することができます。
  ① 充電器から取り上げ、決定（メニュー）を押して、(▲▼)で「グループ名登録」を選び、決定（メニュー）を押す。
  ②変更したいグループを選び、決定（メニュー）を押して、名前を入力する。
  ③ 決定（メニュー）を押す。
  ディスプレイに「グループ名登録しました」と表示されます。
- DP から PB への切替信号を登録するには
  # を押します。
- PBX や CES の内線に接続されているときは
  外線発信番号と電話番号を登録してください。
- 登録を中止するときは、切 を押してください。
- 電話番号は必ず入力してください。設定されていない場合は、登録することができません。
- 圏外にいるときは、電話帳などの登録ができません。

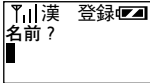
ワンタッチダイヤルや電話帳へ登録する電話番号に名前を付けます。入力できる文字は、「ボタンと文字の対応表」（→46 ページ）のとおりです。

名前の登録をする

名前、読みを入力する

〈例〉「鈴木」と入力する

ここでは、ワンタッチボタンに名前を登録する場合を例にしていますが、入力方法はワンタッチダイヤル、電話帳とも同じです。

1 文字が入力できる状態で、保留（文字）を繰り返し押して、入力する文字の種類を選択する

2 3 を 3 回押す

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

漢　登録
名前？
す

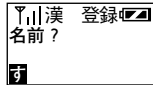
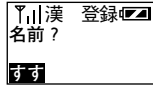
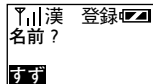
3 （▶）を押してカーソルを右に移動させ、3 を3回押す

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

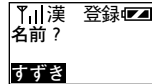
漢　登録
名前？
すす

4 ＊ を押す

「す」が「ず」に変わります。

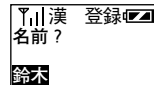
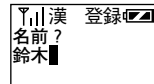
漢　登録
名前？
すず

5 2 を 2 回押す

「か」→「き」の順に表示されます。

漢　登録
名前？
すずき

6 （▼）を押して変換候補を表示する

変換候補が 2 つ以上あるときは、（▼）を押すごとに順に表示されます。

7 （▲）または（▼）を押して変換候補を選び、決定（メニュー）で確定する

漢　登録
名前？
鈴木

確定した文字は、ディスプレイの 2 行目に表示されます。

8 決定（メニュー）を押す

文字が登録されます。

「電話帳」の場合は、続けて読みを入力します。読みは電話帳の検索で使用するため、正しく入力してください。

登録・設定編

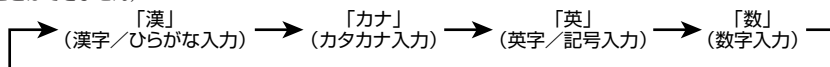
お知らせ

● 入力した文字を消すには
(▶) または (◀) を押して、消したい文字にカーソルを合わせ クリア を押します。

● 変換候補が見つからないときは
操作６で クリア を押して、ひらがなを表示させた状態で (▶) または (◀) を押して、漢字変換範囲を指定することができます。変換範囲を指定して (▼)を押すと、指定した文字の変換候補が表示されます。

● 続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するときは
(▶) を押して、カーソルを右に移動させ、ダイヤルボタンを押します。

● ダイヤルボタンの最初の文字に戻るには
続けて同じダイヤルボタンを押します。
〈例〉「こ」が表示されているときに 2 を押すと、「か」に戻ります。

● 入力モードを切り替えるには
文字入力中に 保留/文字 を押すたびに入力モードが切り替わります。（フリガナ入力のときは「漢」モードに切り替えることはできません）

● カタカナを入力するには
保留/文字 を押して「カナ」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

● 英字／記号を入力するには
保留/文字 を押して「英」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

● 数字を入力するには
保留/文字 を押して「数」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

● 半角文字（カタカナ・英字／記号・数字）を入力したときは
ディスプレイの2行目に直接表示され、ボタンを押すたびに入力文字が確定されていきます。（フリガナ入力はディスプレイの３行目に直接表示されます）

● 圏外にいるときは、電話帳などの登録が出来ません。

● 漢字はおおむね JIS 第２水準まで対応しています。

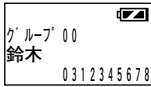
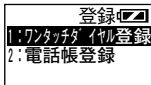
■ボタンと文字の対応表

入力モード／ボタン	全角	全角		
	「漢」表示（漢字／ひらがな入力）	「カナ」表示（カタカナ入力）	「英」表示（英字／記号入力）	「数」表示（数字入力）
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ		1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ	9
0	わをんー	ワヲン゛゜－	（）－＿＠．	0
＊	゛゜	無効		＊
＃	無効			＃
保留/文字	文字入力モード変換			
(◀)	カーソルの左移動			
(▶)	カーソルの右移動			

電話帳の登録内容を変更する

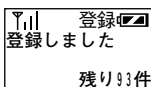
電話帳の登録内容を変更する

1 「読みで検索する」(→24ページ) または「グループで検索する」(→25ページ) を使って、変更したい登録内容を表示させる

2 決定 を押す

3 (▲▼)で「修正」を選び、決定 を押す

4 (▲▼)で「1:ワンタッチダイヤル登録」または、「2:電話帳登録」を選び、決定 を押す

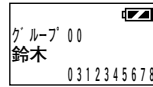
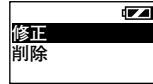
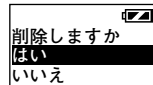
- 「1:ワンタッチダイヤル登録」を選んだときは、登録するワンタッチボタン→ 決定 の順に押します。
- 「2:電話帳登録」を選んだときは、「電話番号を登録するには(電話帳)」(→44ページ)の操作をしてください。

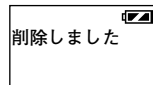
5 登録内容を変更して、決定 を押す

ﾄﾞ登録
登録しました
残り93件

ワンタッチダイヤルまたは電話帳に変更した内容が上書き登録されます。

電話帳の登録内容を削除する

1 「読みで検索する」(→24ページ) または「グループで検索する」(→25ページ) を使って、変更したい登録内容を表示させる

2 決定 を押す

3 (▲▼)で「削除」を選び、決定 を押す

削除しないときは「いいえ」を選びます。

4 (▲▼)で「はい」を選び、決定 を押す

登録内容が削除されます。

お知らせ

- 電話帳・ワンタッチダイヤルの内容をすべて削除するには
  ① 充電器から取り上げ、決定 を押して (▲▼)で「電話帳・ワンタッチ削除」を選び 決定 を押す
  ② (▲▼)で「0:する」を選び、決定 を押す
  ③ (▲▼)で「はい」を選び、決定 を押す
  ディスプレイに「電話帳・ワンタッチ削除しました」と表示されます。
- 圏外にいるときは、電話帳などの登録内容を変更できません。

登録・設定編

お客様が登録・設定できる機能について

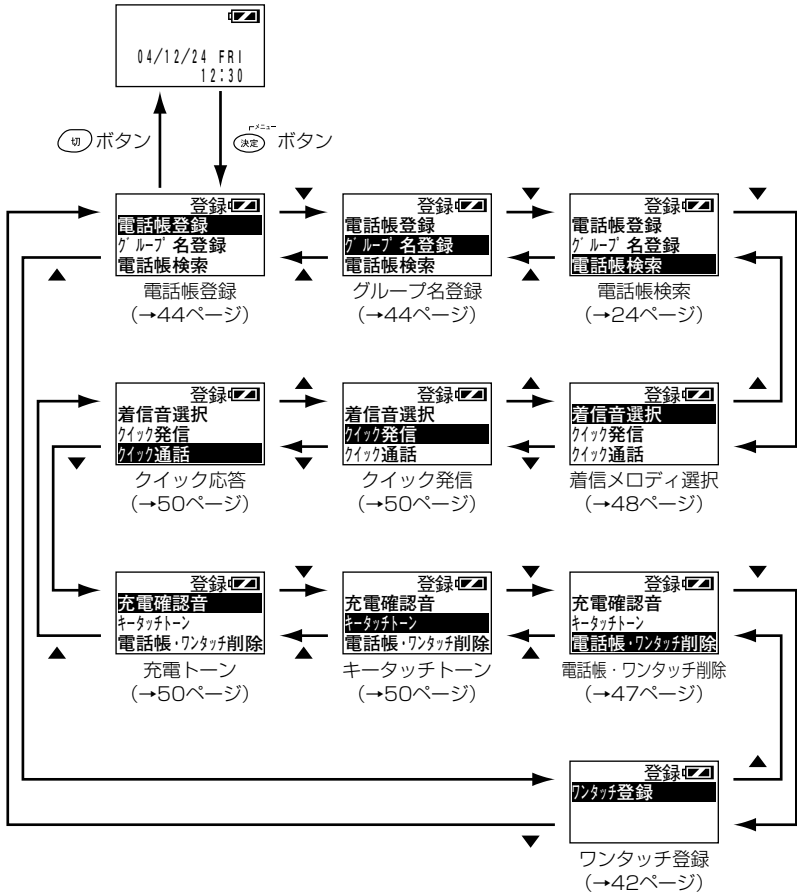
アナログコードレス電話機で設定できる機能と操作について説明します。

■アナログコードレス電話機で登録・設定できる機能

	登録・設定できる機能	意　味
電話機機能	電話帳登録	電話帳に名前・フリガナ・電話番号・グループを登録します。
	グループ名登録	電話帳のグループ名称を登録します。
	電話帳検索	電話帳から読み検索・グループ検索ができます。
	着信メロディ選択	外線の着信音をトーンまたはメロディに設定します。 0：なし（主装置の設定に従う）※ 1：トーン 2：メロディ１（春の歌） 3：メロディ２（メヌエット） 4：メロディ３（カノン） 5：メロディ４（華麗なる大円舞曲） 6：メロディ５（ハンガリア舞曲第５番）
	クイック発信	充電器から取り上げるだけで外線発信の状態になるようにするかどうかを設定します。
	クイック通話	充電器から取り上げるだけで応答できるようにするかどうかを設定します。
	充電確認音	アナログコードレス電話機を充電器に置いたときに確認音を鳴らすかどうかを設定します。
	キータッチトーン	ボタンを押したときに確認音を鳴らすかどうかを設定します。
	電話帳・ワンタッチ削除	電話帳・ワンタッチに登録されているすべての内容を削除します。
	ワンタッチ登録	ワンタッチボタンに電話番号や機能を登録します。

※　0：なし（主装置の設定に従う）に設定した場合は、ダイヤルインやi･ナンバーなどの個別着信を着信音の鳴りかたで聞き分けることができます。
主装置の着信鳴動音設定をメロディに設定している場合でもアナログコードレス電話機はメロディでは鳴りません。
また、主装置の着信鳴動音設定の音源（周波数）設定を変更しても、アナログコードレス電話機の音源（周波数）は変わりません。

メニューの流れ

メニューを使って登録・設定を行うときは、決定(メニュー)、◎(▲▼)を押して、目的のメニューを表示させます。

メニューの流れ

登録・設定する機能をディスプレイに表示させ、次のように操作します。

アナログコードレス電話機の機能					
電話帳登録（→44ページ）	電話帳に名前・読み・電話番号・グループを登録します。	➡	外線ランプや通話ランプが消えていることを確認し、メニュー 決定	➡	（▼▲）「電話帳登録」を表示させる
グループ名登録（→44ページ）	電話帳のグループ名称を登録します。	➡		➡	（▼▲）「グループ名登録」を表示させる
電話帳検索（→24ページ）	電話帳から読み検索・グループ検索ができます。	➡		➡	（▼▲）「電話帳検索」を表示させる
着信音選択（→48ページ）	着信音をトーンまたはメロディに設定します。	➡		➡	（▼▲）「着信音選択」を表示させる
クイック発信	充電器から取り上げるだけで内線へ発信できる状態になります。	➡		➡	（▼▲）「クイック発信」を表示させる
クイック通話	電話がかかってきたとき、充電器から取り上げるだけで応答できます。	➡		➡	（▼▲）「クイック通話」を表示させる
充電確認音	アナログコードレス電話機を充電器に置くと、確認音が鳴ります。	➡		➡	（▼▲）「充電確認音」を表示させる
キータッチトーン	ボタンを押したときに確認音が鳴ります。	➡		➡	（▼▲）「キータッチトーン」を表示させる
電話帳・ワンタッチ削除（→47ページ）	電話帳・ワンタッチに登録されているすべての内容を削除します。	➡		➡	（▼▲）「電話帳・ワンタッチ削除」を表示させる
ワンタッチ登録	FFボタンに電話番号や機能を登録して、ワンタッチボタンとして動作させます。	➡		➡	（▼▲）「ワンタッチ登録」を表示させる

お買い求め時は　　　　に設定されています。

通話録音ユニットを使う

留守番電話をセットして、不在の時に電話をかけてきた相手の方の用件を録音したり、外線通話中の内容を録音したりすることができます。

外線 社内の電話機で留守録をセットする

留守録モードをセットする

1 充電器から取り上げ（内線）を押す

2 （留守）を押す

- 留守ボタンが赤色点灯し、応答ガイダンスが聞こえます。
- 応答ガイダンスは自由に録音することができます（→テレモアEX取扱説明書170ページ）。
- 応答ガイダンスを録音していない場合は、次のような固定ガイダンスが流れます。
「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音の後にお話ください」

留守番電話を解除する

1 充電器から取り上げ（内線）を押す

2 点灯している（留守）を押す

- 留守ボタンが消灯し、「留守を解除しました」というガイダンスが流れます。

ご注意

- 用件の録音が満杯（最大60分または100件まで）の場合、留守録はセットできません。
「これ以上録音できません」というガイダンスが流れます。取付け時設定 ※1

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ（留守）機能を設定しておく必要があります。取付け時設定 ※2
- お買い上げ時は外線着信後、即時に留守録モードになりますが、留守録モードになるまでの待ち時間（10〜70秒）が設定できます。取付け時設定 ※3
- 留守録をセットしていない状態で、約90秒応答しない場合、自動的に留守専用モードで応答します。
- 一般着信で複数の着信電話機が留守録設定されている場合は、内線番号の小さい電話機で留守録ボックス指定されているボックスに録音されます。
- 留守録が着信に応答するのは、留守録モードがセットされている留守ボタンが割り付けられている電話機が着信鳴音した場合です。
- 留守録モードがセットしてある際に（留守）の赤点灯を確認する場合、（留守）が消えている場合があります。その時は（クリア）を押して（留守）の赤点灯を確認してください。

※1：システム設定　0471
※2：システム設定　1101〜1108
　　FFボタン設定 XX01〜XX08
※3：システム設定　0473

外線 留守録の用件を再生する

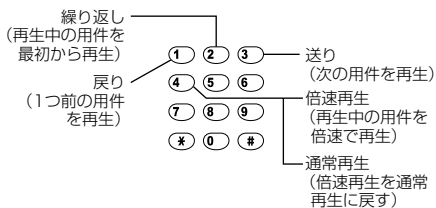
留守録の用件を再生

1 充電器から取り上げ（内線）を押す

2 （留守再生）を押す

- 留守録再生ボタンが緑色点滅します。
- 「n件のメッセージを再生します」というガイダンスが流れた後に、未再生の古い用件から再生されます。
- 再生・未再生にかかわらず、古い用件から再生することもできます。取付け時設定 ※

3 再生中の電話機のボタンで操作をする

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。ボタンの機能の割り当てを以下に示します。

（5）（#）：消去（再生中の用件を消去）
（5）（0）（#）パスワード（4ケタ）：一括消去（ボックスの用件を全消去）

お知らせ

- 留守録の録音内容がある際に（留守再生）の赤点灯を確認する場合、（留守再生）が消えている場合があります。その時は（クリア）を押して（留守再生）の赤点灯を確認してください。
- タイムスタンプ送出中に（1）を押すと、1つ前の用件を再生します。
- 一括消去のパスワード（4ケタ）は取付時設定です。
- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ（留守再生）機能を設定しておく必要があります。
- 倍速再生は、通常再生の1.5倍の速度で再生します。

※：システム設定 0493

外線 通話を録音／再生する

通話中に話の内容を録音することができます。重要な会話や、間違えやすい複雑な注文などを記録に残しておくと便利です。

通話を録音する

1 外線通話中に 通話録音 を押す

- 通話録音ボタンを押したときから録音が始まります。
- 通話録音ボタンが緑色に点滅します。

2 終了するには 通話録音 を押す

- 通話録音が終了します。
- 以下の方法でも録音を終了できます。
  ・(切) を押して電話を切る。

ご注意

- 通話録音ボタンが赤色点灯の場合は、留守録または通話録音が使用中のため、通話録音を行うことはできません。
- 外線通話中以外（内線通話中、ドアホン通話中など）では通話録音はできません。会議通話中にも通話録音はできません。
  音声メモリが満杯になった場合は、通話録音を終了します。
- 通話録音中に保留をすると、保留した時点で通話録音は終了します。通話に戻ったときに、再度通話録音ボタンを押してください。
- 会議通話にすると、通話録音は終了します。

通話録音を再生する

録音内容がある場合、通録再生ボタンが赤色点灯しています。録音満杯の場合は、赤色点滅します。

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 通録再生 を押す

- 通話録音再生ボタンが緑色点滅し、電話機の表示部には「再生中」と表示され、再生・未再生にかかわらず、古い用件から再生します。
- 未再生の古い用件から再生することもできます。取付け時設定※
- 「n 件のメッセージを再生します」というガイダンスが流れます。（ n は番号）

3 再生中の電話機のボタンで操作をする

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。（ボタンの機能の割り当ては 42 ページ）

お知らせ

- 通話録音の内容がある際、通録再生 の赤点灯および赤点滅を確認する場合に、通録再生 が消えている場合があります。その時は (クリア) を押して 通録再生 の赤点灯および赤点滅を確認してください。
- 通話録音はチャネルごと（最大6チャネル有り）に最大60分または最大100件（応答メッセージを含む）まで可能です。
- 音声メモリ内には通話録音用のボックスが1チャネルごとに6ボックス、全部で最大6チャネル計36ボックスあります。チャネル1はボックス番号10～15、チャネル2はボックス番号16～21のように各チャネルごとに6ボックスづつ使用できます（初期設定）。
  このボックス番号は、外出先からリモート操作で録音内容を再生するときに必要になります。
- 通話録音ボックスは録音可能時間（初期設定：5分）を設定することができます。（30分、1～5分）
  この録音可能時間を経過すると通話録音は終了します。

※：システム設定 0493

外線 留守録機能ボタンの登録

留守録用の機能ボタン（留守ボタン、留守再生ボタン、通録ボタン、通録再生ボタン）はあらかじめ FF キーに登録しておきます。

留守 を登録する

1. 充電器から取り上げ 内線 を押す
2. # を押す
3. 設定したい FF キーを押す
4. * 6 3 を押す
5. 保留 を押す
6. 切 を押す
   - 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

通話録音 を登録する

1. 充電器から取り上げ 内線 を押す
2. # を押す
3. 設定したい FF キーを押す
4. * 6 9 0 を押す
5. 保留 を押す
6. 切 を押す
   - 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

留守再生 を登録する

1. 充電器から取り上げ 内線 を押す
2. # を押す
3. 設定したい FF キーを押す
4. * 6 9 1 を押す
5. 保留 を押す
6. 切 を押す
   - 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

通録再生 を登録する

1. 充電器から取り上げ 内線 を押す
2. # を押す
3. 設定したい FF キーを押す
4. * 6 9 2 を押す
5. 保留 を押す
6. 切 を押す
   - 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

外部スピーカを使って呼び出す

アナログコードレス電話機から外部スピーカを使って呼び出すことができます。アンプ、外部スピーカが必要です。
外部スピーカにハンズフリー応答用ドアホンで応答する場合は、ドアホン／構内放送ユニットとハンズフリー応答用ドアホンが必要です。

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (#) を押す

3 (9) を押す

4 送話口に向かって話す

- 構内放送されます。

外部スピーカにアナログコードレス電話機で応答するには

1 充電器から取り上げ (内線) を押す

2 (#) (#) を押す

ドアホンで応答するには

1 ドアホンに向かって話す

呼び出した方の声を外部スピーカで聞きながらお話しできます。

お知らせ

- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、(内線) を押す操作は必要ありません。

ドアホンからの呼び出しに応答する

ドアホンからの呼び出しにアナログコードレス電話機で応答することができます。
ドアホンとドアホン/構内放送ユニットが必要です。ドアホンはシステムに2台まで接続することができます。
取付け時設定 ※

1 着信音が鳴る

2 充電器から取り上げ （通話） を押す

- 玄関子機の方とお話しください。

ドアホンの着信音が鳴らないアナログコードレス電話機で応答するには

1 他の電話機から着信音が鳴る

2 充電器から取り上げ （内線） を押す

3 （9）（1） または （9）（2） を押す
ドアホン呼出が同一グループの他の電話機に設定されている場合は、操作３で （＊）（＊） を押しても応答できます。

お知らせ

- クイック発信（→50ページ）の設定をしておくと、操作1は充電器から取り上げるだけで、（内線） を押す操作は必要ありません。
- ドアホンと通話中に別のドアホンから呼び出しがあると、着信音が鳴ります。（切） を押してから操作２を行い、（9）（1）（ドアホンＡの場合）または （9）（2）（ドアホンBの場合）を押して応答してください。
- ドアホンとの通話は保留、転送することができません。
- ドアホンＡ（（9）（1））、ドアホンＢ（（9）（2））を呼び出すこともできます。
- 通話中にドアホンから呼び出しがあると話中時着信音が鳴ります。

《ドアホンの着信音と呼出番号》

	ドアホンＡ	ドアホンＢ
着信音	ピンポン（２回）	ピンポン（３回）
呼出番号	（9）（1）	（9）（2）

※：電話機設定 XX29

電気錠を解錠する / 外部スイッチを動かす

電気錠を解錠する

取付け時設定 ※ 1

アナログコードレス電話機から電気錠を解錠することができます。
ドアホン / 構内放送ユニットが必要です。

1 ドアホンと通話中に （＊）（6）（7） （電気錠 A の場合）または （＊）（6）（8）（電気錠 B の場合）を押す

- 電気錠が解錠されます。

お知らせ

- 施錠するには、電気錠を解錠する操作と同じ操作を行ってください。
- またはを FF キーに設定すると、FF キーのランプが下記のように点灯します。

電気錠	FF ランプ
施錠中	消灯
解錠中	赤色に点灯

- 電気錠が解錠中にFFキーのランプを確認する場合、FFキーのランプが消えている場合があります。その時は、（クリア）を押して FF キーのランプの点灯を確認してください。

外部スイッチ（多目的リレー）を動かす

取付け時設定 ※ 2

アナログコードレス電話機から外部スイッチを動かし、電灯などをつけることができます。
ドアホン / 構内放送ユニットが必要です。

1 充電器から取り上げ （内線） を押す

2 （＊） を押す

3 （6）（1） を押す

- 外部スイッチが動きます。

お知らせ

- 外部スイッチを停止するときも同じ操作を行ないます。

オプション編

※ 1：システム設定 0531
※ 2：システム設定 0531
　　システム設定 0532
　　システム設定 0533

ファクスを接続する

ファクスをシステムの内線に収容している場合

ファクスをシステムの内線に収容すると、ファクス専用の特定の電話番号を用意しなくてもファクスを利用できます。システムに2台まで収容できます。取付け時設定 ※1
アナログコードレスで受けたファクスからの着信を内線のファクスに手動で転送してファクスを受けることができます。

ファクスを受ける（手動転送）

ISDN回線、F網、電話（アナログ）回線からかかってきた場合に利用できます。
ISDN回線、電話（アナログ）回線のどちらでお使いの場合も同じ方法で転送することができます。

1 アナログコードレス電話機で応答したら、ファクスへの着信だった場合に、(短縮) (9) (*) を登録したFFキーを押す

2 (切) を押す

ファクスを送る

ファクスを送る場合は、テレモアEX取扱説明書をご参照ください。

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ (短縮) (9) (*) を設定しておく必要があります。取付け時設定 ※2
- ファクスに転送後、一定時間内にファクスに応答しないときは自動的に回線を切ります。

※1：電話機設定　XX31ビット3
※2：システム設定　　1101～1108
　　FFボタン設定　　XX01～XX08

取付け時に設定する事項

詳細については、販売店にご相談ください。

長時間通話警報

外線へ電話をかけたとき、相手の方が応答してから最初は2分30秒後、以降は3分ごとに警告音（ピー）が聞こえます。
構内交換機に接続している場合は、電話番号の最後のケタをダイヤルしてから15秒または30秒後から数えます。

システム設定 0030

外線スライド着信

0～60秒まで、10秒ごとに設定することができます。設定すると、設定した時間内に電話に出ないと、指定した電話機にも着信音が鳴ります。夜間/昼間別、外線別に設定できます。

電話機設定 XX14～XX17

保留再呼出

0、20、30、40、60、90、120、150、180秒の中から設定できます。
設定すると、外線を保留したあとに一定時間を過ぎると、保留警告音が聞こえます。
受話器を取っていたり、通話中のときには保留警告音は鳴りません。

システム設定 0306

話中時着信

外線または内線通話中の電話機に対して、外線、内線、ドアホン、センサーから呼出があった場合、話中時着信音が聞こえます。
話中時着信音は小さい音で聞こえるので、通話の妨げにはなりません。
内線の呼出中や内線通話している相手が保留したとき、通話していた相手が電話を切ったときなど、音声以外の音が聞こえている時に話中時着信があっても、話中時着信音は聞こえません。
話中時着信音は「プップップッ」と聞こえます。

電話機設定 XX18

0発信グループ

外線を用途別に分けて使用するための設定です。電話機から 0 をダイヤルしたとき、または 通話 、自動選局発信（→22ページ）で捕捉できる外線の指定です。

外線設定 0X02

サービスクラスと各種規制

各電話機ごとに優先順位（準甲、甲、準特甲、特甲、超特甲）をつけ、市内や市外などへの発信を制限するように設定できます。

クラス	特定ダイヤル	市外	特定市外	市内	PBX内線
準甲	×	×	×	×	○
甲	×	×	×	○	○
準特甲	×	○	×	○	○
特甲	△	○	○	○	○
超特甲	○	○	○	○	○

○：発信可能
△：取付け時の設定により発信可能
×：発信不可能

〈特定市外発信規制〉
0 ☒の2ケタを規制します。発信規制解除市外局番とNCCアクセスダイヤルを除く、準特甲に適用されます。

〈共通短縮ダイヤル発信規制解除〉
共通短縮ダイヤルで電話をかけるときは、規制が解除されます。

〈10規制〉
1 0 0 ～ 1 0 9 のダイヤルを規制します。甲、準特甲に適用します。

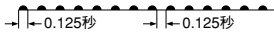
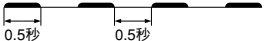
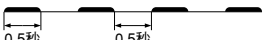
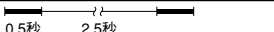
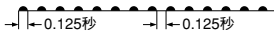
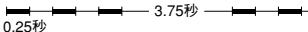
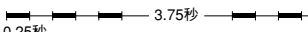
〈外線発信規制〉
電話機ごとに発信可能な外線を設定できます。

〈特定ダイヤル規制〉
最大6ケタのダイヤルに対する発信規制が20種類設定できます。
構内交換機に接続されている場合は、外線発信番号を除いたダイヤルに適用されます。お買い上げ時は ✱ と # が設定されています。この設定を特甲以下のサービスクラスで適用するか、準特甲以下に適用するかを設定できます。

電話機設定 XX06、XX07
時計・課金・発信規制設定

無鳴動着信自動応答

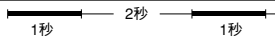
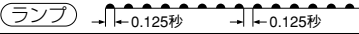
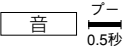
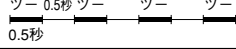
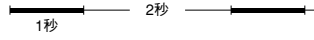
着信音が鳴らない電話機でも、ディスプレイのバックライトの点灯だけで着信をお知らせすることができます。受話器を取って応答できます。オフィスなどで静かな環境にしたいときなどに便利です。

電話機設定 XX20
XX51～XX58
XX61～XX68

ワンキーダイヤル変換

デジタル多機能電話機から 1 ～ 8 のうち1つのボタンを押すだけで、内線を呼び出したり、外線を捕捉することができます。

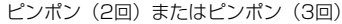
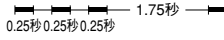
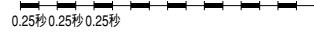
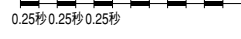
電話機設定 XX19ビット2

音とランプ表示

外線

項目		時間幅	備考
電話がかかってきたとき	通常	音 設定周期 ランプ 0.125秒 0.125秒	設定着信音★（→48ページ） 外線ランプ 赤色
	ダイヤルイン着信 i・ナンバー着信 サブアドレス着信 転送着信	音 設定周期 ランプ 0.125秒 0.125秒	設定着信音★（→48ページ） 外線ランプ 緑色
通話中	自分が使っているとき	ランプ 0.125秒 1.62秒 0.125秒	外線ランプ 緑色
	他人が使っているとき	ランプ	外線ランプ 赤色
保留	保留した電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	外線ランプ 緑色
	他の電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	外線ランプ 赤色
	保留再呼出（保留した電話機）	音 0.5秒 2.5秒 ランプ 0.125秒 0.125秒	外線ランプ 緑色
話中時着信		音 0.25秒 3.75秒	
長時間通話警報		音 0.25秒	1kHz
外線着信警報		音 設定周期	設定着信音★（→48ページ）
網保留終話 通話中転送失敗		音 0.25秒	
通話中着信通知		音 0.25秒 3.75秒	

お知らせ

- ★印は 取付け時設定 が必要です。
  設定内容の詳細は、備考の参照ページをご覧ください。

参考

内線・共通

項　目		時　間　幅	備　考
内線通話	信号音呼出	音　1秒　2秒　1秒 ランプ　0.125秒　0.125秒	通話ランプ
	音声呼出	音　プー　0.5秒 ※通話ランプは信号音呼出と同じ。	
内線通話中		ランプ	内線ランプ
内線発信音（DT）		音　プー	連続音 (432 Hzまたは 496 Hzから選択)★
内線呼出確認音（RBT）		音　1秒　2秒	トレモロ音
内線話中音（BT）		音　ツー　0.5秒　ツー　ツー　ツー　0.5秒	432 Hzまたは 496 Hzから選択★
内線話中時着信		音　1秒　2秒	

オプション使用時

項　目	時　間　幅	備　考
ドアホン着信	音　ピンポン（2回）またはピンポン（3回）	
ドアホン話中着信	音　0.25秒 0.25秒 0.25秒　1.75秒	
センサ着信	音　0.25秒 0.25秒 0.25秒	
センサ話中着信	音　0.25秒 0.25秒 0.25秒	

お知らせ

● ★印は 取付け時設定 ※が必要です。
　設定内容の詳細は、備考の参照ページをご覧ください。

※：システム設定 0061

設定着信音の種類

着信音は、下記のパターンを設定することができます。取付け時設定※
また、下記のパターンとは別にメロディを選択することができます。(→48ページ)

着信音パターン	時間幅 (0 / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s / 6s)	備考
局着パターン0 局着パターン1		
局着パターン2		
局着パターン3		
局着パターン4		
局着パターン5		
局着パターン6		
局着パターン7		
局着パターン8		

※:システム設定 0054～0057
　　システム設定 2XX8

困ったときは

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●基本的な使い方

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
アナログコードレス電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	–
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	–
	アナログコードレス接続装置の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	–
	停電のため	故障ではありません	70
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	19
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	67
	アナログコードレス電話機の電池残量がなくなりかけている	アナログコードレス電話機を充電してください	19
外線を押しても、外線が捕捉できない	待ち受け中に外線を押しても、外線捕捉はできません。	通話(レフック)を押すかまたはクリアで外線の状態を表示させてから外線を押してください	22
お話し中に雑音が入ったり、お話しが途切れる	アナログコードレス接続装置から離れすぎている	アナログコードレス接続装置に近づいてください	6
	アナログコードレス接続装置とアナログコードレス電話機の間に障害物がある	障害物のないところへ移動してください	6
	アナログコードレス接続装置のアンテナを立てていない	アンテナを立ててください	6
お話し中に「ビュッ」という音が聞こえる	相手の方が先に電話を切ったため	故障ではありません	–
お話し中に相手の方に「ビュッ」という音が聞こえる	お話し中に保留ボタンなどのボタンを押したため、または相手の方より先に電話を切ったため	故障ではありません	–
お話し中に「ピー」という低電圧警報音が鳴る	アナログコードレス電話機の電池残量がなくなりかけている	アナログコードレス電話機を充電してください	19
着信音が鳴らない 内線やドアホンからの呼出音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	21
	アナログコードレス接続装置の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	00
	着信音量が「切」になっている	着信音を「大」「中」「小」のどれかに設定してください	21
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	67
	アナログコードレス電話機の電池残量がなくなりかけている	アナログコードレス電話機を充電してください	19
	停電のため	故障ではありません	70
	ドント・ディスターブ（DND）や、不在転送が設定されている	故障ではありません 設定を解除してください	39、40

こんなときは	原　　因	確認してください	参照ページ
「プープー…」という音が聞こえ、外線や内線にかけられない	他の内線電話機またはアナログコードレス電話機が使用している	他の内線電話機またはアナログコードレス電話機のお話が終わってからかけ直してください	69
	アナログコードレス接続装置の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	–
	停電のため	故障ではありません	70
内線で呼び出すと、「プープー…」という音が聞こえ呼び出せない	相手の内線電話機がお話し中のため	故障ではありません	69
	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	22
内線で呼び出すと他の内線電話機の呼出音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	22
充電器から取り上げると「ツー」という発信音が聞こえる	クイック発信を「ON」に設定している	故障ではありません	50
充電しても低電圧警報音が鳴る	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	19
	充電端子が汚れている	乾いた布などで清掃してください	20
	電池パックが寿命である	新しい電池パックと取り替えてください	19
充電器に置いても充電ランプが点灯しない	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	19
触るとあたたかい	充電しているとき	故障ではありません	20
登録・設定ができない	アナログコードレス接続装置の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	–
Ÿが消えている	カレンダ・時計表示中（待ち受け中）にŸは表示されません	故障ではありません	–
アナログコードレスのランプ表示が消灯している	使用していないときはランプ表示が消灯します	故障ではありません	14
アナログコードレス接続装置の電源／通話ランプが橙色に点滅している	番号設定スイッチの位置が異なっている	もとの位置に戻してください	–
アナログコードレス接続装置の電源／通話ランプが消灯している	電話機コードが抜けている、または主装置の電源がオフになっている	電話機コードを正しく接続してください 主装置の電源コードを正しく接続して、電源をオンにしてください	–

アナログコードレス電話機をご使用中に、次のようなことが起こりますが、故障ではありません。
- 操作してから表示や音が出るまでに時間がかかる。（アナログコードレス電話機では、電波を使用するため、他の内線電話機よりも時間がかかります。
- ディスプレイ表示がちらついて見えることがある。
- 電波干渉やノイズ等により、LCD の誤表示が発生することがあります。
- 内線着信と（通話）を押す操作が重なった場合、ごく希に表示が変わらないことがあります。このときは（クリア）を押すことにより、表示が切り替わります。

通話できる範囲から外れたときは（圏外）

アナログコードレス電話機は、アナログコードレス接続装置からの電波が届く場合では、お話しながら自由に移動することができます。お話し中のとき、お話できる範囲から外れると圏外警報音でお知らせします。

待ち受け中のとき

あらかじめ内線電話によりアナログコードレス接続装置からの電波の弱い場所を確認しておくことをおすすめします。（→６ページ）
アナログコードレス電話機は、なるべく電波の強い場所においてください。

電話をかけようとしたとき

アナログコードレス接続装置に近づいて、なるべく電波の強い場所で行ってください。（→６ページ）

お話し中のとき

通話できる範囲から外れると、ディスプレイの Ｙ が点滅し、圏外警報音が鳴ります。
アナログコードレス接続装置に近づいて、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。（→６ページ）

電話がかかってきたとき

圏外にいるときに電話がかかってきても、着信音は鳴りません。呼び出す方は呼出音のままになります。アナログコードレス電話機はなるべく電波の強い場所においてください。

お知らせ

- お話し中に圏外になったとき、警報音が鳴らなくなる場所へ移動しないと通話が切れますので、警報音の鳴らなくなるところまで速やかに移動してください。
- 電波が弱いところでご使用になると、電話がかかりにくい場合や、通話に雑音が入る場合があります。また、雑音が大きいときは警報音が聞こえない場合があります。なるべく電波の強い場所へ移行して、ご使用ください。
- コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 圏外にいるときは、電話帳などの登録ができません。

雑音がするときは

アナログコードレス電話機で通話中に外部からの妨害電波などにより、急に雑音が増えることがあります。
次の操作をすることにより、雑音を軽減できる場合があります。

1 (クリア) を押す

- 雑音軽減が開始し、約２秒後に通話に戻ります。

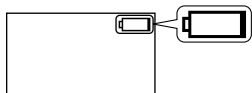
お知らせ

- 雑音が軽減しないときは
  本操作を行ったあとでも雑音が軽減しない場合は再度、操作１からの操作を行うと、雑音が軽減する場合があります。
- 圏外付近での使用により発生した雑音や、周囲の環境状況などにより発生した雑音は軽減されない場合があります。
- 本操作を行うと、FFキーのランプ表示が最新の情報に更新されます。

電池の残量がなくなったときは

アナログコードレス電話機で通話中に電池の残量がなくなると、警報音が鳴ります。
すみやかにお話しを終えて、充電器において、充電するようにしてください。

通話中に電池の残量がなくなると

電池の残量が少なくなると、「ピー」という警報音（約４秒間）でお知らせします。お話しが終わったら必ず充電器において充電してください。電池の残量が完全になくなると通話が切れて、電源も切れます。

待ち受け中に電池の残量がなくなると

ディスプレイの表示が消えます。このとき、警報音は鳴りません。
ご使用になれませんので、すみやかに充電してください。

お知らせ

- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、ディスプレイの マークでまだ残っているように見えても電池切れの警報が鳴ることがあります。
- ご使用になる前に電池の残量を確認してください。
- 電池の残量がなくなると、お話し中以外のときでも電話をかけるなどの操作をしようとすると、「ピー」という警報音が鳴ります。
- 電池残量が完全になくなると、発信履歴・着信履歴が消え、各種音量がお買い求め時の設定に戻ります。

■電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。交換の際は、最寄りの当社窓口などへご持参いただくか、当社の者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠注意	電池パックについて 電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。 ・必ず指定のものをお使いください。 ・取り出して充電しないでください。 ・火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。 ・充電には、指定の充電器をお使いください。 ・端子を短絡させないでください。

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	プーップーップーッ　（内線発信音）	内線 を押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー　（外線発信音）	通話 を押したとき	電話をかけられます
	プープー…　（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のときまたは他の内線電話機が外線を使用中のとき	お話し中です
		アナログコードレス接続装置から離れすぎているとき	アナログコードレス接続装置に近づいてください
	プルルル…　（外線着信音）※	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	プーップーッ　（内線呼出音）	他の内線電話機を呼び出しているときまたは呼び出されているとき	他の内線電話機を呼び出しているか、呼び出されています
	ピッピッピッ…　（圏外警報音）	お話し中に通話できる範囲から外れたとき	アナログコードレス接続装置に近づいてください
	ピー（約4秒間）　（低電圧警報音）	アナログコードレス電話機の電池残量がなくなりかけているとき	アナログコードレス電話機を充電器に置いて充電してください
登録設定	ピー　（登録確認音）	登録を受け付けたとき	登録されました
	ピピピピピ　（登録エラー音）	登録を受け付けなかったとき	登録できません
その他	ピーンポーン、ピーンポーン　（ドアホンAチャイム音）	ドアホンAから呼び出されたとき	ドアホンAから呼び出されています
	ピンポン、ピンポン、ピンポン　（ドアホンBチャイム音）	ドアホンBから呼び出されたとき	ドアホンBから呼び出されています
	ピッ　（キータッチトーン）	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	ピッ　（充電確認音）	充電器に置いたとき	充電器に置かれました

※設定によりメロディや音を切り替えることができます。

停電になったときは

停電中の動作に関しては、テレモア EX 取扱説明書 195 ページ（停電のときは）をご参照ください。

仕様

	アナログコードレス接続装置	アナログコードレス電話機	充電器
主装置収容可能台数	３台	３台	－
寸法	幅：約 152mm 奥行き：約 128mm 高さ：約 38.5mm （アンテナ、突起部含まず）	幅：約 48mm 奥行き：約 39mm 高さ：約 180mm （アンテナ、突起部含まず）	幅：約 70mm 奥行き：約 94mm 高さ：約 76mm
質量	約 300g	約 205g	約 90g
電源	主装置より給電	専用ニッケル水素電池 DC2.4V/600mAh	DC10V　100mA
消費電力	1.5W 以下	0.65W 以下	2.8W 以下
連続通話時間		約６時間	
連続待受時間		約 150 時間	
環境条件		温度：0 ～＋ 40℃ 湿度：65 ± 20%	

アフターサービスについて

●この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
なお、以下の記載内容について特にご確認ください。
●お買い求めの日が記載されていること
●お客様のご住所とお名前が記載されていること
●販売店の住所と名前が記載されていること

●保証期間はお買い求めの日から１年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

＜お客様ご相談センタ：0120-186102＞

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。 部品代：修理に使用した部品代金です。 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

・ **補修用部品の保有期間について**

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、７年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受けいたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

・ **電子情報の消去について**

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

さくいん

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

英数字